

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	自然の家事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年室	事業名	自然の家管理事業		
事業概要						
自然の家管理(指定管理者施設管理)						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
滋賀県高島市の豊かな自然を背景に、幼児から高齢者まであらゆる世代の市民が、自然の中でリフレッシュしながら自然体験活動や生涯学習の場として活動するとともに、交流の場として利用できるよう、自然の家の維持管理を行った。 コロナ禍では人数制限の影響もあり、利用者が減っていたが、小学校の利用や主催事業の実施により、利用者数19,951人(昨年度比111%、2,100人増)と多くの方に利用いただいた。 主催事業ではweb申込を導入し、利便性の向上を図った。 また、利用者の安全への配慮として老朽化で生じた非常用放送設備の修繕、玄関ホール天井の修繕及び危険樹木の伐採を行った。		決算額 (千円)	74,002	71,378	73,949	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	96.9	92.7	92.8	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
(1) 延べ利用者数 令和3年度：10,394人、令和4年度：17,851人、令和5年度：19,951人 (2) 利用団体数 令和3年度：504団体、令和4年度：656団体、令和5年度：664団体 (3) 令和5年度主な修繕実績 非常用放送設備修繕業務：1,138,500円 玄関ホール天井修繕業務：726,000円 危険樹木伐採業務：451,000円		①指定管理者とともに、利用者ニーズの把握や分析等について十分な意見交換を行い、安心・安全に配慮し、豊かな自然環境を活用した施設運営を図る。 ②施設がオープンして44年が経過しており、老朽化の状況を踏まえて、本市公共施設の最適化計画に基づき、年次計画的な修繕を実施しながら、大規模修繕工事に向けた検討を進める。				継続

	所管 室課		事業名					
事業概要								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			一般財源 の 比率(%)					
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題					
						今後の実施計画 の方向性・内容		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	自然体験交流センター事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年室	事業名	自然体験交流センター管理事業			
事業概要							
自然体験交流センター管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
幼児から高齢者まであらゆる世代の市民が、自然の中でリフレッシュしながら自然体験活動や生涯学習の場として活動するとともに、交流の場として利用できるよう、自然体験交流センターの維持管理を行った。 コロナ禍では人数制限の影響もあり、利用者が減っていたが、利用者数39,359人（昨年度比130%、9,151人増）と多くの方に利用いただいた。 主催事業ではweb申込を導入し、利便性の向上を図った。 また、老朽化で生じた本館棟シャワー給湯器の修繕、大雨による倒木で壊れたわんぱくサイト周辺箕面遊歩道フェンスの修繕を行った。 （1）利用団体数 令和3年度：543団体、令和4年度：738団体、令和5年度：734団体 （2）利用者数 令和3年度：15,862人、令和4年度：30,208人、令和5年度：39,359人 （3）令和5年度主な修繕実績 本館棟シャワー給湯器修繕業務：760,853円 わんぱくサイト周辺箕面遊歩道フェンス修繕業務：239,800円			決算額 (千円)	87,419	103,724	96,152	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	97.1	95.6	92.2	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			①計画的に維持補修をすることで施設の 魅力をさらに向上させる。 ②市と指定管理者が定期的に協議を行う ことにより、普段から十分なコミュニ ケーションを取りながら、引き続きより 一層の市民サービスの向上とより良い施 設運営を目指す。				
			継続				

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年クリエイティブセンター事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター管理事業			
事業概要							
青少年クリエイティブセンター管理							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、青少年クリエイティブセンターを管理し、施設を良好な状態に維持した。 施設利用者数 (1)青少年会館 令和3年度 9,966人 令和4年度 10,842人 令和5年度 13,592人 (2)体育館 令和3年度 11,884人 令和4年度 15,962人 令和5年度 18,199人 (3)運動広場 令和3年度 11,953人 令和4年度 13,318人 令和5年度 13,083人 令和元年度からの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により一時期減少していた利用者数は、徐々に回復しつつある。しかし、コロナ禍前の水準までは戻りきっていないため、当施設の事業活動の効果的な周知などにより市民のさらなる施設活用を促すことが重要。			決算額 (千円)	53,739	69,843	39,789	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.9	99.9	99.8	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			昭和56年(1981年)に建設されてから40年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるため、近年では屋上防水工事や外壁改修工事、エレベーター改修工事を実施し、令和4年度は体育館屋上防水工事を実施した。今後も利用者が日常的に安全かつ安心して利用できる施設改修を計画的に行っていく。 また、利用者の属性や来館時期に偏りが見られることから、施設を有効的に活用するため、青少年を対象としたアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めた。			継続	

2	所管 室課	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター主催事業				
事業概要								
青少年クリエイティブセンター運営								
活動実績				年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、青少年クリエイティブセンターにおいて事業を実施した。 主催事業件数 (1)学習活動推進事業 令和3年度 26件 令和4年度 23件 令和5年度 25件 (2)交流推進事業 令和3年度 8件 令和4年度 8件 令和5年度 10件 (3)子育て支援事業 令和3年度 5件 令和4年度 5件 令和5年度 4件 (4)情報提供事業 令和3年度 2件 令和4年度 2件 令和5年度 2件				決算額 (千円)	11,955	12,606	10,139	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	99.1	99.3	99.2	■ 有効性 □ 効率性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 公平性 □ 持続可能性	
				青少年の健全な育成と交流の支援を目的とし、さまざまな主催事業を実施しているが、施設設置当初からの社会情勢の変化に対応し、今の時代に即した事業となっているかの検証と、アンケート調査により把握できた若者の課題や要望を反映した事業の検討が必要。			今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年活動サポートプラザ事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ管理事業			
事業概要							
青少年活動サポートプラザ管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を目的として、子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの施設の貸館業務及び維持管理を行った。また、利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズを把握し、事業運営に反映させた。			決算額 (千円)	80,963	98,625	99,506	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	94.5	92.4	92.8	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
（１）貸室利用件数 令和３年度…9,049件、令和４年度…12,545件、令和５年度…13,966件 （２）貸室利用者数 令和３年度…69,006人、令和４年度…109,578人、令和５年度…129,422人			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			利用者懇談会やアンケートの実施を通して利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努めた。また、必要に応じて、設備の更新や修繕を実施した。 今後も計画的な設備の更新や修繕を実施し、市民の方が安心して利用できる施設を目指す。			継続	

2	所管 室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ主催事業			
事業概要							
青少年活動サポートプラザ運営							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
（１）青少年交流活動支援事業 青少年の自立や社会参画を促すことを目的とした居場所づくりや青少年の自主的な活動の支援、学習室や交流ロビーの運営、各種イベントの企画運営を行った。 【青少年交流活動支援におけるイベント参加者数】 令和３年度…1,009人、令和４年度…4,596人、令和５年度…12,506人 【学習室の提供】 令和３年度及び令和４年度では、コロナ禍のため、時間制にして多くの方が利用できるように工夫を行った。 令和３年度…23,546人、令和４年度…30,766人、令和５年度…24,813人 （２）青少年委員会の開催 青少年活動サポートプラザにおいて、青少年の立場でより良い施設とするための意見を聴取し、イベントの企画・運営など幅広い活動を実施した。（延べ人数） 令和３年度…59人、令和４年度…106人、令和５年度…61人 （３）３施設連携イベント 夢つながり未来館の３施設が連携し、夏まつり、リサイクルフェア及びお正月あそびを開催した。			決算額 （千円）	17,722	7,002	7,262	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	99.9	99.7	99.6	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			青少年自らが企画運営するイベントを実施することで、青少年の自主性や社会性を育む等青少年の成長が見られた。また、安心して学べる場として多くの青少年が学習室を利用した。 今後も青少年が体験や交流を通して成長できるよう、さらに魅力的な事業を展開していく。また、関係室課と連携し、食育やジェンダー、SDGsなど「社会課題について考えるブース」を定期的に青少年の目に触れる環境を作り出す。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年活動サポートプラザ事業	所管部局	地域教育部

3	所管 室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ相談事業		
事業概要						
青少年活動サポートプラザ相談						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者総合相談センター(ぶらっとるーむ吹田)として、相談を実施している。 (1) 新規相談件数 令和3年度…295件、令和4年度…348件、令和5年度…296件 (2) 社会参画につながったケース 令和3年度…60件、令和4年度…93件、令和5年度…90件 (3) 他機関協議の実施回数 令和3年度…1,223回、令和4年度…1,387回、令和5年度…1,129回 (4) アウトリーチ(訪問支援)の実施回数 令和3年度…389回、令和4年度…382回、令和5年度…367回 子ども・若者総合相談センターでは、社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年(39歳まで)及びその家族に対し、相談員が子ども・若者支援地域協議会を活用し、関係機関と連携しながら面談やアウトリーチ(訪問)等を行い、自立に向けた支援を行った。 また、支援が必要でありながら、適切な支援につながっていない複合的課題を有する青少年に対し、早期に支援につなげるため、学校(SSW)や関係機関との連携の強化に努めた。		決算額 (千円)	35,461	34,626	36,101	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	51.8	50.6	55.1	■ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		不登校、ひきこもり、高校中退など、 複雑化・複合化した青少年の相談が増加 しており、自立に向けて関係機関等との 連携によるチームでの支援を行っている。 学齢期の支援機関はそろっている が、中学校卒業後は支援機関の数が減 り、支援が届きにくくなる。 今後は、こども大綱が閣議決定された ことにより、切れ目のない包括的な支援 が求められていることから、関係機関と の連携を強化し、子供を誰一人取り残す ことのない、こどもまんなか社会を進め ていく。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 効率性	
					☐ 公平性	
					☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

1	所管 室課	まなびの支援課	事業名	こども110番見まもり活動支援事業			
事業概要							
こども110番見まもり活動支援							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
「こども110番の家」運動協力者に旗及びプレートを配布した。 ・旗 令和3年度・・・1,541本 令和4年度・・・2,459本 令和5年度・・・2,229本 ・プレート 令和3年度・・・397枚 令和4年度・・・1,546枚 令和5年度・・・830枚			決算額 (千円)	1,465	1,453	1,103	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			少ない経費で子供の安全確保に寄与していると考えているが、今後も活動の継続と充実を図るため関係者と連携し、より有効な支援をしていく。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管 室課	青少年室	事業名	青少年育成事業		
事業概要						
青少年指導員活動、二十歳を祝う式典、こども会スポーツ大会、吹田青少年野外コンサート（吹田青少年さつき音楽祭）、子供劇場、ヤングフェスティバル、さわやか元気キャンプ						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施した。 【主な活動実績】 (1) さわやか元気キャンプ 不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年を対象に、自然体験活動を通じて生きる力を育むキャンプを年4回実施した。 ・参加人数 令和3年度…35人 令和4年度…73人 令和5年度…97人 (2) 二十歳を祝う式典 二十歳となる成人を祝い励まし、社会人としての自覚を促すため、「二十歳を祝う式典」を市立吹田サッカースタジアムで開催した。 ・対象人数 令和3年度…3,748人 令和4年度…3,917人 令和5年度…3,858人		決算額 (千円)	19,653	21,515	23,018	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	99.2	98.8	98.6	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		「さわやか元気キャンプ」については、事業実施後、参加児童・生徒のうち2名が新学期から登校できるようになった事例があり、ニーズと意義はあるものとする。また、不登校等の経験を持つスタッフが大半であり、児童・生徒に寄り添いながら指導にあたり、参加者とともに成長していることも成果であるとする。今後、参加者がスタッフとなり、つながりを継続できるような機会を提供する。			継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

3	所管 室課	青少年室	事業名	青少年指導事業		
事業概要						
吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会、スカウトリーダー養成、青少年指導者講習会、地区青少年健全育成事業への助成、青少年健全育成保険加入等、非行防止・環境整備、青少年問題協議会						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
青少年を地域で見守るとともに、青少年指導者を養成することを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施しました。 【主な活動実績】 (1) 地区青少年健全育成事業への助成 地区青少年対策委員会が実施する青少年健全育成事業への助成を行った。 ・補助金額 令和3年度…6,949千円 令和4年度…13,045千円 令和5年度…14,672千円 (2) 青少年指導者講習会 青少年に関わる指導者を対象に、「スマートフォンやSNSの知識」や「子供の貧困の現状」など、青少年育成に関する様々なテーマで講習会を実施し、指導者の育成支援に取り組んだ。 ・参加者数 令和3年度…61人 令和4年度…203人 令和5年度…161人 ・開催回数 令和3年度…1回 令和4年度…7回 令和5年度…6回		決算額 (千円)	7,665	14,379	16,195	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		「青少年指導者講習会」は、より多くの方が気軽に参加できるよう、オンライン配信だけでなくアーカイブ配信も取り入れるなど、開催方法を工夫し実施したが、今後も参加者のニーズ把握に努め、地域指導者の養成に努める。			今後の実施計画 の方向性・内容	
			継続			
			「吹田市・若狭町リーダー交歓会」は、1970年の大阪万博から始まった事業で、一定の期間を経過しており、開催当時から社会環境等が大きく変わっており、時代に合った見直しの協議を若狭町とともに進める。			

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名